

可児市文化創造センターからのお知らせ

岐阜県可児市の可児市文化創造センター（愛称 ala(アーラ)；イタリア語で「翼」の意味）では、10年以上前に高い評価を得ながら再演されていない舞台作品を、可児市に役者や演出家などスタッフが滞在し、リメイクして再演するプロジェクト「ala Collection シリーズ」を展開しています。

東京一極集中の演劇界にあって、このプロジェクトでは、地方からの本格的な演劇文化を発信するため、全国公演を展開しています。

第1作目は、20年度制作の「向日葵の柩」（柳美里原作、金守珍演出）。この作品は、可児市で10公演、東京（新国立劇場小劇場）で6公演、全国で4公演を行いました。また、第2作目の「岸田國男小品選」（音無美紀子、浅丘めぐみ主演、西川信廣演出）は、可児市での6公演のほか、東京（新国立劇場小劇場）でも6公演を行い、大盛況のうちに終了しました。また、この11月にも全国5箇所での公演を予定しています。

そして、シリーズ第3段は、馬淵晴子、吉本美代子の2人芝居「精霊流し」です。

[ala Collectionシリーズvol.3『精霊流し』／精霊流しの夜に、二人の「女」に起こったことは……。](#)

今回この作品を、武蔵野市の吉祥寺シアターで、8/13(金)～18(水)に全6回公演を行います。

岐阜県の可児市民が送り出す作品を、東京の岐阜県ゆかりの皆さんに、ぜひともご鑑賞いただきたく思います。地方でも本格的な演劇が制作できます。皆さんの応援をよろしくお願い申し上げます。



問合先
〒509-0203 可児市下恵土 3433-139
可児市文化創造センター
事業制作課 若尾、澤村
TEL0574-60-3311 FAX0574-60-3312
Email: info@kepac.or.jp

ala Collection シリーズ Vol.3

精霊流し

SYOUROU NAGASHI

作 岡部耕大
演出 加納幸和
出演 馬淵晴子
芳本美代子

【可児公演】

平成22年7月30日(金)～8月5日(木)[全6回公演]

開演時間は裏面をご覧ください。

会場／可児市文化創造センター・小劇場

料金：一般3,000円 18才以下1,500円(全席指定・税込)

チケット発売日：平成22年5月22日(土)9:00～

※電話予約は翌5月23日(日)9:00～

お問合せ：可児市文化創造センター TEL 0574-60-3311

【東京公演】

平成22年8月13日(金)～18日(水)[全6回公演]

開演時間は裏面をご覧ください。

会場／吉祥寺シアター

料金：一般4,000円 学生2,000円(全席指定・税込)

※東京公演の学生券は、当日のみの取扱い。

(公演当日、会場受付で学生証をご提示ください)

チケット発売日：平成22年6月1日(火)

チケット販売 電子チケットぴあ=0570-02-9999 (Pコード:404-513)

ローソンチケット=0570-084-003 (Lコード:37339)

CNプレイガイド=0570-08-9999

イープラス=<http://eplus.jp>

中村ステージプロダクション=<http://www.stage-mura.jp>

お問合せ：中村ステージプロダクション TEL 03-5355-1332

二人の「女」に
精霊流しの夜に、
起こったことは……。

精霊流し

SYOUROU NAGASHI

Profile

夜空には大輪の花火、峰には愛珠沙華、
見守る子と流しは夕りの花が咲き乱れていた。
8月15日、長崎松浦は精霊流しの賑わい。
子いも達を母の命の祭り、のちと暮らさずまに、
町の片隅で息をとり、子いもに寄りかかると宿屋。
まかないは年老いた女将「おばば」ひとり。
「女は帰って来た、東京から長崎松浦に。」
身を委ねる親族も女もそこにはない、
だが必要もなかった。
何故か女は女は、自分の過去を

現在、未来も消し去る覚悟で
帰ってきたのだから。
女は自殺を回ったけれど死ぬことがなかった。
おばばは、
宿屋の縁側越しの海に浮かぶ
精霊の灯を眺めながら、
女は帰った、
松浦で死のつとめた理由を。
おばばは語った、
松浦で独り生きてきた理由を。。。



おばば: 馬淵晴子

1936年東京生まれ。1954年『女人の館』(日活)で映画デビュー。1957年NHKの専属を皮切りに数多くのドラマに出演し、テレビ創成期のヒロイン役を担う。1959～61年の結婚出産休業を経て、1961年木下恵介劇場『記念樹』(TBS)で復帰し、映画『TOMORROW / 明日』(1988黒木和雄監督)、『海ほおずき』(1996林海象監督)、『母のいる場所』(2004横坪野鶴子監督)、『北の零年』(2005行定勲監督)、舞台『舞いの家』(1999南座)、『もうひとつのグラウンド・ゼロ』(2005カメリアホール) TV『相棒シーズン5スタートスペシャル』(2006ANB)、など幅広く活躍している。



女: 芳本美代子

1985年『白いスクエッシュシューズ』でアイドルデビュー。その後ドラマ・舞台へと幅を広げ1990年の初舞台『阿国』(OKUN)でその演技力が認められ第28回ゴールデンアロー賞演劇新人賞を受賞。以降ドラマ・映画・舞台・バラエティと幅広く活躍中。主な出演作品…ドラマ『同窓会』、『海猿』、『ママまっしぐら11～3』、『鬼龍院花子の生涯』/映画『FRIED DRAGON FISH』、『TRICK』/舞台『闘龍城の七人』、『マクベス』、『ピーターパン』など

作/岡部耕大



長崎県松浦市生まれ。1970年「トントントン」を処女作として劇団「空間演技」を設立。小劇場の劇団では最も長い劇団活動史を誇る劇団「空間演技」を主宰して作・演出に活躍。他にも、他劇団への戯曲、映画・テレビのシナリオを執筆。「新劇最後の砦」といわれる岡部耕大の作品は、自分の生とそっくり重なる戦後史の意味にこだわっていることに特徴がある。その骨太でオーソドックスな作風は、戦中から戦後の庶民群像を描いて秀逸であり、他の追随を許さない。第23回岸田國士戯曲賞受賞、第23回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。

演出/加納幸和



日本大学芸術学部・演劇学科卒業。
卒業論文『櫻姫東文章』の再生と可能性において、芸術学会賞を受賞。昭和59年10月より加納幸和事務所を主宰。昭和62年4月に「ザ・隅田川」にて、花組芝居旗揚げ。役者だけでなく演出家としても活躍。平成11年11月の帝劇公演「西鶴一代女」(主演・浅丘ルリ子)で商業演劇に初挑戦。そして、平成14年2月公演「憎いあんちくしょう」(主演・浅丘ルリ子)で、帝劇の舞台に初出演した。平成11年には、NHK朝の連続テレビ小説「あすか」に松坂三郎太役で出演。平成13年NHKドラマ「少年たち2」、NHK教育愛の詩「料理少年Kタロー」(第3話)に出演。

(スタッフ)

- 作 岡部耕大
演 出 加納幸和(花組芝居)
舞台美術 川口夏江
照明デザイン 橋本和幸
音響デザイン 鶴田 浩((財)可見市文化芸術振興財団)
衣裳 志田 久(東京衣裳株式会社)
衣裳 上田 亨
編 曲 大野裕明(花組芝居)
演出助手 原川浩明(花組芝居)
方言指導 八重樫 慎一
制作 若尾嘉代子((財)可見市文化芸術振興財団)
澤村 潤((財)可見市文化芸術振興財団)
プロデューサー 衛 紀生((財)可見市文化芸術振興財団)

※ala Collection シリーズとは

アーティスト・イン・レジデンスを基軸として、第一線で活躍する俳優・スタッフが可見市に滞在しながら作品を制作し、可見市から全国に発信する質の高い作品づくりを目指すプロジェクトです。

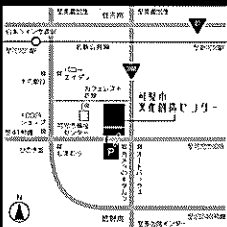
主催: (財) 可見市文化芸術振興財団

可児公演

可児市文化創造センター・小劇場
平成22年7月30日(金)～8月5日(木) [全6回公演]



料 金 一般3,000円 18才以下1,500円(全席指定・税込)
チケット取扱い 可児市文化創造センター TEL.0574-60-3050
インターネット予約 <http://www.kpac.or.jp>
お 問 合 せ 可児市文化創造センター TEL.0574-60-3311



可児市文化創造センター

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
URL <http://www.kpac.or.jp>
TEL.0574-60-3311
9:00-22:30(火曜定休/祝日の場合は閉館・翌平日休)

- 【交通アクセス】
■名鉄名古屋駅より約50分・日本ライン急遽下車、徒歩10分
■中央自動車道 多治見ICから、国道248号線経由で約20分
■JR名古屋駅より約50分・可児駅下車、タクシーで約5分、徒歩30分
■東海環状自動車道 可児 御舞ICから約15分

※駐車場が混雑する場合がございますので、お時間に余裕を持ってお出かけください。

東京公演

吉祥寺シアター
平成22年8月13日(金)～18日(水) [全6回公演]



料 金 一般4,000円 学生2,000円(全席指定・税込)
※東京公演の学生券は、当日のみの取扱い。(公演当日、会場受付で学生証をご提示ください)
チケット取扱い 電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 404-513)
ローソンチケット 0570-084-003(Lコード37339)
イープラス <http://eplus.jp>
C Nプレイガイド 0570-08-9999
中村ステージプロダクション <http://www.stage-mura.jp>
お 問 合 せ 中村ステージプロダクション TEL.03-5355-1332



RICHIOJI THEATRE

吉祥寺シアター

☎0422-22-0911
武蔵野市吉祥寺本町1-33-22
<http://www.musashino-culture.or.jp>

【交通アクセス】
◎ JR中央線・京王井の頭線吉祥寺駅北口徒歩5分